

鈴鹿バルーンフェスティバル



開催日：2015年11月21日（土）～23日（月・祝）
 ※23日（月・祝）は午前中のみ
 時間：午前6時30分～午後5時15分
 場所：鈴鹿川河川緑地（鈴鹿市庄野町）

「鈴鹿バルーンフェスティバル2015」

鈴鹿バルーンフェスティバルは、全国5ヶ所で開催される「2015熱気球ホンダグランプリ」の最終戦で、東海地方唯一の熱気球競技の全国大会です。30機以上の熱気球がフライトし競技を行うほかに、会場では熱気球教室や係留フライト、スケッチコンテストなど、ファミリーで楽しめるイベントが満載です。（写真提供：鈴鹿市役所）

目次・主な内容

■ Top News 理事・役員会・特別講演会 2

■ 三重経協News 6

■ 三重労働局News 11

■ 委託事業News・県労委News 12

■ 事務局News 13

■ 業務日誌 14

理事・役員会開催

9月28日（月）津都ホテル5階「伊勢中東の間」において、理事・役員会を開催いたしました。当日は、30名の参加者がありました。

尚、終了後、特別講演会を開催し、56名の参加者がありました。

1. 会長挨拶要旨

既にご承知のとおり、来年の先進国首脳会議（G7サミット）が三重県・賢島で開催されることになりました。伊勢志摩が会場に選ばれたのは、風光明媚な自然や警備上のメリットに加え、長年にわたって神宮参拝者をもてなしてきた歴史や伝統が評価されたと思っております。さらに三重の素晴らしさを国内外に売り込む絶好のチャンスですので、おもてなしの心を持って世界各国の方々を迎え、歴史上に残るサミットになるよう、経営者協会としても協力して参りたいと考えております。

最近の経済情勢につきましては、OECD（経済協力開発機構）が2015年（+3.8%）と2016年（+3.6%）の世界経済の成長率見通しを下方修正しました。中国経済の減速により世界経済の先行き不透明感が強まっており、米国経済も雇用と家計消費の上昇が堅実な成長をけん引する一方で、投資がなおも振るわないと分析しています。

日本経済については、労働市場は改善しているものの、消費回復や日銀のインフレ目標の達成に必要な賃金上昇にはつながらず、また円安傾向にもかかわらず、輸出が伸び悩んでいる現状にも疑問を呈しています。

三重県内の法人景気予測は6期連続でマイナスとなったものの、海外向けの工作機械の受注増や、消費増税の影響で落ち込んでいた住宅の契約件数の回復を背景に、運輸と不動産の復活もあり、マイナス幅は前期に比べ縮小しました。先行きもこの傾向が継続する見通しです。

このような状況の下で、私ども経営者協会と致しましては、5月の総会でご承認を頂いた各種の事業について、着実に推進をして参りました。主なものとして、女性懇話会については今年発足5周年を迎えることとなり、12月に記念行事の開催を予定しております。

また、力を入れております障がい者雇用の推進に



岡本会長挨拶

ついては、新たな取り組みとして「産・福・学 障がい者雇用情報交流会」を7月に開催致しました。障がい者施設や特別支援学校、企業の就職・採用担当者が一堂に会し、障がい者雇用の推進に向けて人的交流を深め、出席者から好評を得ることができました。

更に、研修・セミナーの充実については、「管理職講座」の内容を拡充し、「新入社員フォロー研修」ともども、前年を上回る参加者となりました。また、企業にとって大きな課題となっているマイナンバー制度についての対応セミナーを4月に開催し、多くの参加者を集めました。

最後に他団体との連携強化については、今年度の新たな取り組みとして、中部3経協で7月に「合同企業説明会」を開催し、また「採用活動のスケジュール変更に関する企業調査」も進めております。

以上が上半期における事業進捗の概要ですが、当協会の基盤強化には、会員の増強が重要であります。お蔭様で皆様のご協力により入会申込みが増えており、特に北勢地区については大幅な増加となりました。引き続き理事の皆様方には、新規会員のご推薦やご紹介を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

今後も力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2. 決議事項

役員人事の件（案）

①理事就任の件

- （新任）(株)近鉄百貨店 四日市店
四日市店長 梶間 隆弘 氏
- （新任）(株)近鉄・都ホテルズ四日市都ホテル
総支配人 長尾 修二 氏
- （新任）(株)小林機械製作所
代表取締役社長 長田 泰宏 氏
- （新任）近鉄レジャーサービス(株)
取締役社長 申田 幹男 氏
- （新任）三重テレビ放送(株)
代表取締役社長 長江 正 氏
- （新任）(株)トーエネック三重支店
執行役員支店長 山内 康広 氏
- （新任）セントラル硝子(株)松阪工場
執行役員松阪工場長 湯浅 章 氏

②監事就任の件

- （新任）日本板硝子(株)四日市事業所
事業所長 清水 英和 氏

※満場一致で承認されました。

新理事就任挨拶（当日参加された4名）



長尾氏



長田氏



山内氏



長江氏

3. 報告事項

（1）平成27年度上期事業進捗状況

事業活動報告

- ◆平成27年度女性懇話会

- ◆第20期労務管理改善協力委員会

- ◆研修・セミナー

- ◆三重労使雇用支援機構「働きやすい職場づくり支援事業」

- ◆専門家派遣・相談等支援事業

- ◆女性の再チャレンジ促進事業

- ◆企業と若者を結ぶインターンシップ事業

- ◆三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会

- ◆大学生等インターンシップ受入企業開拓事業

- ◆中部三県合同調査

- ◆第54回三重労使会議

- ◆会員増強

（2）平成27年度上期事業予算執行状況

※以上の状況が事務局より報告されました。

4. その他

- （1）障がい者雇用ステップアップ推進運動に対するご寄付のお願い

- （2）三重県体育協会からのお願い

（トップアスリート等の就職支援について）

公益財団法人三重県体育協会

常務理事 世古 定 氏



説明をする世古常務理事

- （3）三重労働局雇用均等室からのご連絡

（女性活躍推進法の施行について）

三重労働局 雇用均等室

室長補佐 矢田 有 氏



説明をする矢田室長補佐

特別講演会

「幸運を引き寄せる」～創造力の磨き方～

ベストセラー作家 水谷 友紀子 氏

人は“思い”が現実になっても、単なる“偶然”だと見過ごしがちです。1日に60,000ものことを“思う”といいますし、現実になるまでにはタイムラグがあるからです。

私が思ったことが現実化することが判かったのは、幼少時の多くの体験と、父の書籍の中に見つけた言葉を実践して、ミズーリ州立大でジャーナリズムを学ぶ、パートナーを得る、留学費用・100万円を用意する、という当時は実現不可能と思われた3つの目標を達成期限と共に決め、その実現を強くイメージした瞬間、その目標のメモを宇宙からばらまく“天使”を見、私自身が歓喜に包まれたその時でした。23歳の11月23日のことです。その後すぐに生涯のパートナーを得、半年後には全ての思いが実現しました。この強烈な経験が、私に思考と現実に関する研究を進めさせる契機となりました。本日は私が25年間にわたって研究と実験を重ねてきたこの「思考の現実化」の仕組みについてお話します。

“意識”には二つの形があります。一つは顕在意識、もう一つは潜在意識です。二つの意識の中で、顕在意識と呼んでいるものは僅か10%、潜在意識が90%を占めているのです。

私たちが感じ、思い、考えること、つまり顕在意識はすぐ潜在意識に伝わります。この潜在意識は宇宙と繋がっていて、宇宙は私たちの意識=思いを現実という形で返してくれます。良いことを思えば良



いことが起こり、悪いことを思えば悪いことが起きるのです。

今日ご出席の経営者の皆様は「このプロジェクトは成功するぞ」と思ったら成功し、「これは駄目かもしれない」と思いながら始めたら、やはり失敗したという経験もお持ちだと思います。これは、良いことを考えれば良い結果を得られる、というこの単純なことを多くの方がご存じないので、多くの人はネガティブに物ごとを考えがちだからです。80%の方々はネガティブに考え、その結果80%はネガティブなことが起こってしまうのです。

数年前世界的ベストセラーとなった「ザ・シークレット」という本で言われはじめた「引き寄せの法則」というのは、「幸運を引き寄せる想像力」ということに他なりません。

しかし意識がすべて潜在意識にキャッチされるというわけでは有りませんし、意識のすべてが現実化されているのでもありません。意識を現実化する方法を3つ申し上げます。

まず、一つ目、あなたが“一定の時間”考え、思ったことは必ず潜在意識に届き、現実化します。

二つ目、“強烈”に思ったり考えたことは必ず潜在意識に届き現実化して返ってきます。

三つ目、“頻繁”に思ったり考えたりしたこと、これも潜在意識に届き現実化します。この三つのどれかに当てはめれば良いのです。“頻繁”ということのを例に挙げます。

孫正義氏のご両親は生まれたころから「お前は天才だ」と言い続けたそうです。

ウサイン・ボルトは「私は子供のころから母から“お前は伝説になる”と言い続けられてきた」と言っています。“頻繁”の好例です。

錦織圭とマイケル・チャンコーチの間にもそれが見受けられます。マイケル・チャンは錦織選手に



講演会風景

「お前はトップになれる」と言い続けているそうです。

もう一つは私が23歳の時に実践して現実化したイメージをすること、これを私はビジュアライゼーションと呼んでいますが、これが今日お伝えしたい、最も有効な方法です。

ビジュアライゼーションは「一定」と「強烈」の二つの方法を兼ねていますからその効果は絶大です。5年前、「本を出す」と決心し、“人生最初にかき上げた本を今受け取る瞬間”を“一定”の時間ビジュアライゼーションし、その時の喜びの感情をイメージしました。

喜びの感情は“強烈”ということです。先に起こ

ることを、たった今この場で感じることです。私は「乳癌」と宣告された時に、それを克服できたのも「私は乳癌ではない」というビジュアライゼーションのおかげでした。皆様のビジネスも同じだと思います。

「夢や目標がかなったこと」をどうかイメージしてください。“一定”“頻繁”“強烈”にというのは、各々一つ、ビジュアライゼーションも一つです。言葉より、イメージの方が潜在意識は捕まえやすいと言われますから、私はビジュアライゼーションをお勧めします。

最後に「夢は絶対にかないます」。どうもありがとうございました。(文責：事務局)



顕在意識と潜在意識について熱心に語る水谷氏

講師プロフィール

1963年 神奈川県生まれ。三重県津市在住。

アメリカ ミズーリ大学ジャーナリズム学部卒業。

国会議員公設秘書、津市市議会議員(2期)などを経て著述業に。

26歳の時に「引き寄せの法則」に出会い、人生上3つの大きな奇跡を体験し、「夢は叶う」「思考は現実になる」と実感。以来20年以上にわたり意識と心について研究、実験を重ね、数限りないものや状況を引き寄せることに成功。

「自分の可能性を最大限に発揮しよう!」をコンセプトに、2010年より自己啓発コーチ「ハートのコーチ」として活動を開始。

作家活動と並行し、講演会・セミナー・自己啓発コーチングなどで全国を駆け巡る。

著書

『誰でも「引き寄せ」に成功するシンプルな法則』(講談社)

『私も人生が変わった!超具体的「引き寄せ」実現のコツ』(講談社)

『面白いほど幸運を引き寄せる「創造力」の磨き方』(廣済堂出版)

『人生は、思い通りになる!』(PHP研究所)など多数。

ホームページ <http://www.yukiko-mizutani.jp/>



三重経協活動報告

第54回三重労使会議

9月8日（火）津都ホテル「伊勢の間」にて、第54回三重労使会議を経営者側15名、労働者側16名の出席者で開催されました。

連合三重 法所会長代理、三重県経営者協会 岡本会長より挨拶があり、岡本会長は、冒頭、明るい話題に触れ、来年5月に開催される「伊勢志摩サミット」について三重県の素晴らしさを国内外に売り込む絶好のチャンスであるので労使とも「おもてなしの心」でお迎えしたい旨の挨拶がありました。また、今春闘においては、2年連続で政府からの異例の



労使会議風景

要請があった状況の下、全体的にはプラスとなっているが、中小では、従業員の定着や人材確保の意味合いが強かったように感じ、ベアが可能な企業とそうでない企業の2極化が進んでいる。政府主導の春闘は今回で最後にして欲しいとのことでありました。

また、連合三重法所会長代理からは、雇用の安定、障がい者雇用、ワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍等について挨拶されました。次に、連合三重より経営者協会に対し2016年度「政策・制度」実現に向けた要請書（案）が提出されました。

その後、「ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた労働時間管理の適正化と不払い残業の根絶並びに過労死防止対策等の推進宣言」について三重労使会議として確認が行われました。更に、障がい者雇用ステップアップ推進運動へのお誘い（寄付）に

ついて説明があり、最後に労使セミナーとして、三重労働局労働基準部長の栗村勝行氏より「過労死防止の対策の推進とストレスチェックの取り組み」と題して講演がありました。その後、昼食をとりながら終始和やかな労使の意見交換となりました。



挨拶する岡本会長

■労使協働事業活動報告

- ①三重労使雇用支援機構活動報告
- ②婚活事業「素敵な出会いの会」“ハピマリ”活動



講演する栗村労働基準部長



岡本会長に要請書を手渡す連合三重法所会長代理

女性懇話会

7月28日（火）に女性懇話会を20名の参加者で開催致しました。今回は、名張版ネウボラを視察することを目的とし、次の内容で行われました。

内容

①おじゃまる広場（名張市つつじが丘公民館）

※名張版ネウボラの視察

②名張市役所

・名張市長 亀井 利克 氏と懇談

・名張版ネウボラについて説明

・事業所内保育事業

（子ども・子育て支援制度）について

③株式会社ベルウイング「かな保育園」視察



説明する亀井市長



おじゃまる広場視察風景



懇談会風景



かな保育園視察風景



まちの保健室視察風景

※ネウボラとは、福祉先進国として知られるフィンランドの地方自治体が子育て支援のために設置している母子支援地域拠点のことです。

労務管理改善協力委員会（8月第1部会活動報告）



8月第1部会風景

8月20日（木）プラザ洞津「孔雀の間」において、労務管理改善協力委員会8月第1部会を開催致しました。当日は47名の参加者でありました。

川添第1部会長（上野キャノンマテリアル(株)）の挨拶に続いて、講演が行われました。今回は、特に今年9月30日予定の改正労働者派遣法、10月1日から変更となる労働契約申込みみなし制度を中心に講演して頂きました。

◆プログラム

講演：①「改正労働者派遣法（予定）の内容と対策について」

- ・特定労働者派遣事業の廃止、許可制への一本化
- ・「個人単位」と「事業所単位」の新たな期間制限
- ・雇用安定措置とキャリアアップの推進

②「労働契約申込みみなし制度の内容と対策について」

- ・申込みみなし制度の内容と派遣元、派遣先の実務対応

③「改正障害者雇用促進法の内容と対策について」

- ・不当差別禁止と合理的配慮義務、法定雇用率の見直し

講師：社会保険労務士法人ナデック 代表社員 小岩 広宣 氏（特定社会保険労務士）



挨拶する
川添第1部会長



講演する小岩講師

岐阜・愛知・三重県経営者協会合同企業説明会



合同企業説明会風景

7月3日（金）ウインクあいちにて、岐阜県経営者協会・愛知県経営者協会・三重県経営者協会主催の「岐阜・愛知・三重県経営者協会合同企業説明会」を初めて開催致しました。今年から大学生等の就職活動開始時期の後ろ倒し（12月→3月）により、特に中小企業の人材確保が懸念される中で、中部3県合同で企業説明会を行うことにより学生への効果的なPRの場となると考えて開催致しました。

当日は岐阜県経営者協会会員企業18社、愛知県経営者協会会員企業3社、当協会会員企業3社の合計24社が参加されました。学生は、岐阜県の学生を中心に58名が参加され、三重県出身も4名参加されました。当初は、参加企業・参加学生とも多く参加されると見込まれていましたが、実際には予想よりも少ない結果でありました。これは、他の6月以降の説明会でも同様に学生の動きが鈍くなっており、その影響が表れた結果でありました。

中部経協三県連携事業

新入社員フォロー研修第1回「社会人基礎力を身につける」開催

7月16日（木）プラザ洞津「紅葉の間」において、新入社員フォロー研修第1回「社会人基礎力を身につける」を開催致しました。今年は、初めて高卒・短大卒の方も参加され、また、参加者23名の内半数以上の14名が女性でありました。

講師は昨年に続き㈱ソ・ラボ 代表取締役の山田将史氏を講師にお迎えし、前半は、入社して約4ヶ月が経過し、今どんな気持ちか、また、この研修を通じてどんな事を掴みとれたら嬉しいか確認し、その後、グループに分かれてブロックを使って、経営シュミレーションゲームを行い、各グループそれぞれが役割分担をしながら1年毎（合計3年）決算を行いました。グループの中で役割が営業の方の一部は、講師の山田講師が博士となり、博士に必要以上に色々と聞き出し、うまく活用している場面も見受けられました。

後半は、3グループに分かれて、各グループ横一列になり、日本地図を作成するミッションが各個人別に記載された紙に基づきゲームを行いました。このゲームは一切しゃべることが許されないゲームで、メモによる伝達手段で、皆さんひたすらメモを書いて隣に渡して、このゲームの目的を達成しようと頑張っていました。



グループ別ゲーム風景

■研修の目的

- ①主体性 ②働きかけ力 ③実行力

ルール

- ・礼儀礼節を守る ・時間厳守 ・反応する（聴く、姿勢） ・全員で助け合う
今日を素晴らしい1日にするために
- ・積極的に!「今・ここ・自分」
→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること!
- ・メモをする ・シェア（共有）する



講義する山田講師

新任管理職・中間管理職講座第1回「管理職マネジメント基礎講座」開催

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～

7月24日（金）プラザ洞津「紅葉の間」において、新任管理職・中間管理職講座第1回「管理職マネジメント基礎講座」を開催致しました。今年で3年目を迎える人気の講座であり、今回は、11社25名でのスタートで、内9名が女性の参加となりました。

講師は、昨年に引き続き(株)ヒューマンブレイン 取締役シニアコンサルタントの稲垣正己氏より、午前中は社会を取り巻く環境の変化「前提（背景）が変化している」3つのスキル（カッツの理論）を中心に行われ、午後からは「求められるパラダイムの変換」「POWER診断」による個人のリーダーシップの特徴、また、「タイプ別診断」を用いて講義が進められました。随時グループ内で討議しながら自分がどの様な管理職としてまわりに影響を与えているか考えて頂きました。



講義する稲垣講師

■主なプログラム

- ・ 21世紀のキーワードは環境変化への適応能力
（個人のカ→組織のカ）
- ・ 前提（背景）が変化している
- ・ 管理者層に求められる能力（カッツの理論）
- ・ 求められるパラダイムの変換
- ・ POWER診断
- ・ タイプ別診断



討議風景

第55回ビデオライブラリー監事会・運営委員会

8月6日（木）プラザ洞津「ラ・ルミエール」において、第55回ビデオライブラリーの監査及び運営委員会を開催致しました。

運営委員会の前に監事2名により（株）小林機械製作所様、クレハエラストマー(株)様 監事会が行われ、続いて運営委員会が開催され、西田委員長（三重交通(株)人事部長）の挨拶の後、西場専務理事より平成26年度事業概要並びに収支決算の報告、続いて平成27年度の事業計画及び収支予算の説明があり、審議の結果原案通り承認されました。次に新規購入のDVD選定について説明が行われ、審議の結果原案通り承認されました。

また、DVDの購入の件につきまして以下の通りとさせていただきます。

【新規購入のDVD】

「これだけでできる人事考課」3枚
他のビデオテープ・DVD等もございますので、事務局へお問い合わせ下さい。



運営委員会風景



※古いビデオテープ（VHS）のMVL特別会員贈呈及び廃棄選定について

利用頻度の低いビデオテープ（15年間利用無し）をリストアップし廃棄処分致します。

3年前にも行いました古いビデオテープの無料ご贈呈及び廃棄を再度行うことになりました。

- ①廃棄処分のビデオテープをMVL特別会員の皆様に贈呈（3巻迄）
- ②希望無き場合は同様のやり方で経協一般会員に贈呈
- ③更に希望無き場合は廃棄処分とする

「三重県『産・福・学』障がい者雇用情報交流会」



グループワーク風景

7月31日（金）三重県総合文化センター フレンテみえセミナー室Cにて「三重県『産・福・学』障がい者雇用情報交流会」を約60名の参加者で開催致しました。第1部終了後は昨年12月にオープン致しましたステップアップカフェ「Cotti菜」にて懇親会を行い、実際に障がい者がいきいきと働く姿を見て頂きながら懇親を深めました。また、グループディスカッション（ワールドカフェ形式）では、様々な立場の方々が普段から感じていることや課題等も踏まえて、皆さん真剣に議論し、模造紙に書き込んで最後に発表して頂きました。

この交流会は初めて開催するもので、「障がい者が地元で働き、生きていく」ためのネットワークづくりに繋げていくために、障がい者施設や特別支援学校の担当者と企業の採用担当者が一堂に会して、人的交流を深め、雇用につなげていくことを目的とし、三重県・三重県教育委員会・経営者協会の共催で開催致しました。

内容については、次のとおりです。

1. 主催者挨拶

三重県経営者協会 会長 岡本 直之
三重県雇用経済部長 廣田 恵子 氏



挨拶する岡本会長



挨拶する廣田部長



発表する松本氏

2. 発表

- ①松本産業(有)取締役 松本 祐子 氏
- ②社会福祉法人朋友 統括施設長 豊田 悦子 氏
(Cotti菜スタッフ 篠木 優果さん 荒木 章汰さん)

3. グループディスカッション（ワールドカフェ形式）

テーマ：「障がい者雇用を進めていくために、それぞれの立場からできること」



「Cotti菜」篠木さん(左)荒木さん(右)



発表する豊田氏

4. 懇親会

高校生・特別支援学校卒業予定者の採用枠維持・拡大を

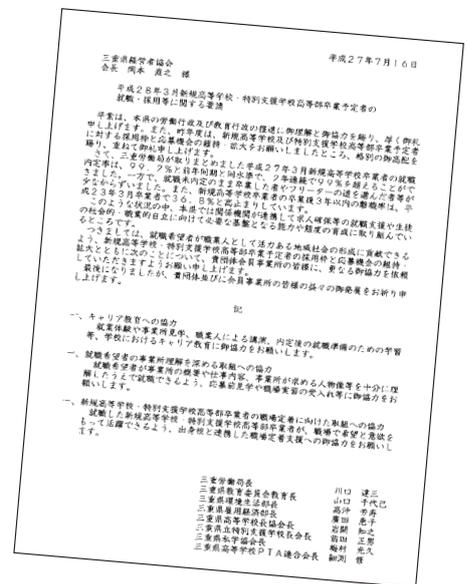
～三重労働局・県教育委員会などが経済団体に要請～

去る7月16日（木）、三重労働局 川口 達三局長と県環境生活部 高沖芳寿部長が、岡本会長へ新規高等学校・特別支援学校高等部卒業予定者の就職・採用希望の高校生らの「キャリア教育への協力」、「就職希望者の事業所理解を深める取組への協力」、「新規高等学校・特別支援学校高等部卒業者の職場定着に向けた取組への協力」のお願いなど書かれた要請文を手渡されました。



要請文を受け取る岡本会長(左)、川口三重労働局長(中央)、高沖県環境生活部長(右)

特別支援学校高等部卒業者の職場定着に向けた取組への協力」のお願いなど書かれた要請文を手渡されました。

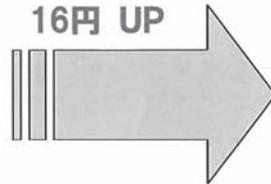


三重県最低賃金が改定されます。

発効日：平成26年10月1日

時間額

737円



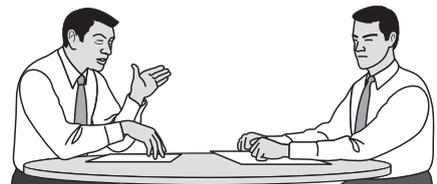
753円

**必ずチェック
最低賃金**
使用者も、労働者も。

* お問い合わせは三重労働局労働基準部賃金室
TEL059-226-2108へ

平成27年度就職面接会のお知らせ

三重労働局・県内ハローワークでは、就職を希望される方と採用予定のある事業主が一堂に会した就職面接会を開催します。



名称	開催日時	開催場所	問い合わせ先
中高年齢者 就職面接会	平成27年11月4日(水) 13時00分～15時00分	四日市市文化会館 展示棟 (四日市市安島2丁目5-3)	ハローワーク四日市 TEL 059(353)5568
津地域就職面接会	平成27年12月9日(水) 13時30分～15時30分	三重県庁講堂 (津市広明町13)	ハローワーク津 TEL 059(228)9161
介護就職ディ (就職相談・事業所面接会)	平成27年11月10日(火) 13時30分～15時00分	津公共職業安定所2F (津市島崎町327-1)	ハローワーク津 TEL 059(228)9161
介護就職ディ in Suzuka	平成27年11月10日(火) 13時30分～15時30分	鈴鹿市神戸コミュニティセンター (鈴鹿市神戸9丁目24-52)	ハローワーク鈴鹿 TEL 059(382)8609

* 詳しくは、各ハローワークにお問い合わせください。

三重労働局職業安定部職業対策課

三重労働局委託事業

「専門家派遣・相談等支援事業」 をご利用ください！

対応内容

給与制度・給与体系を見直したいのですが…

販路拡大の方法について知りたいのですが…

業務改善助成金の適用申請をしたいのですが…

もう少し生産効率を上げたいのですが…

就業規則をしっかりとしたものにしたのですが…

その他
経営・労務に関すること…

無料

相談窓口はこちら

三重県最低賃金総合相談支援センター

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内
TEL.059-226-0033 <http://miekeikyo.jp/>

開設日は、原則、土・日・祝祭日を除く平日とします。
詳しくは、三重県経営者協会のホームページをご確認ください。

三重県の個別労働紛争解決支援制度

解雇、賃金、配転問題など職場を巡るトラブルの解決に、労働相談室と労働委員会が、連携プレーでサポートします。

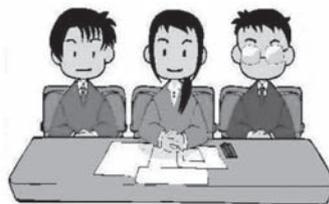
労働相談室



経験豊富な専門の相談員がじっくりお話をお伺いし、制度の案内や関係機関の紹介など、解決に向けたアドバイスを行います。

労働委員会のあっせん窓口にもなります。

労働委員会



労使間での解決が難しいとき、公・労・使三者構成のあっせん員が、中立・公正な立場から調整を

行い、話し合いを促進することで、円満解決へのお手伝いをします。

ご利用は無料です。まずは労働相談室にご連絡ください。

(三重県労働相談室 津市栄町1丁目891 三重県勤労者福祉会館1階)
☎ 059-213-8290



新会員の紹介

OCC社会保険労務士事務所

事業内容 社労士事務所
 代表者 代表特定社会保険労務士 岡田 健
 所在地 津市半田 2226 - 22
 電話 059-202-0468
 F A X 059-202-0469
 ホームページ <http://office-okada.com/>



株式会社シー・ティー・ワイ

事業内容 通信サービス業・放送サービス業
 代表者 代表取締役社長 塩冶 憲司
 所在地 四日市市本町 8 - 2
 電話 059-353-6505
 F A X 059-352-0004
 ホームページ <http://cty-net.ne.jp/>



有限会社三鈴印刷

事業内容 印刷業
 代表者 代表取締役 羽場 秀治
 所在地 鈴鹿市住吉町 6786 - 17
 電話 059-378-9304
 F A X 059-378-1843
 ホームページ <http://www.kirei-insatsu.com/>



株式会社東洋

事業内容 リネンサプライ業
 代表者 代表取締役 服部 恵美子
 所在地 四日市市富田 2 - 8 - 23
 電話 059-363-0858
 F A X 059-364-6691
 ホームページ <http://www.co-toyo.jp/>



ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材
送出
企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業

産業雇用
安定センター
三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業ごとの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材
受入
企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌 (2015.7.9)

事業名	とき	ところ
岐阜・愛知・三重県経営者協会合同企業説明会	7/3(金)	ウイंकあいち
全国労働委員会使用者側連絡会議(幹事会)・全国労働委員会使用者側連絡会議70周年企画委員会 全労委連絡協議会第3回運営会議	7/10(金)	全労委会館
新入社員フォロー研修第1回「社会人基礎力を身につける」	7/16(木)	ブラザ洞津
日本経団連 最低賃金対策専門会議	7/24(金)	経団連会館
新任管理職・中間管理職講座第1回「管理職マネジメント基礎講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～	7/24(金)	ブラザ洞津
女性懇話会	7/28(火)	おじゃまる広場・名張市役所・株式会社ベルウイング「かな保育園」
「三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会」	7/31(金)	三重県総合文化センター・Cottii葉
MVL 監査・第55回運営委員会	8/6(木)	ブラザ洞津
労務管理改善協力委員会第1部会	8/20(木)	ブラザ洞津
第54回三重労使会議	9/8(火)	津都ホテル
日本経団連 地方別経済団体職員交流会	9/14(月)	経団連会館
理事・役員会及び特別講演会	9/28(月)	津都ホテル



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

平成27年10月25日 発行
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F